

Sports Fukushima

第18号
2005.8

みんなでスポーツを!

▲題字 (財) 福島県体育協会会長 佐藤 宗佑

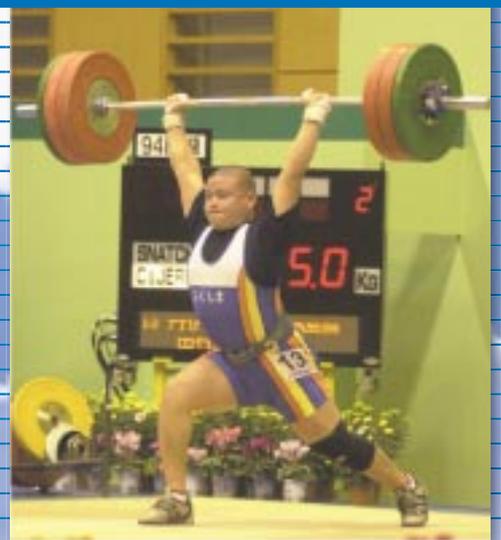
「彩の国まごころ国体 秋季大会」



▲テニス 成年女子 優勝 田口選手



▲ボクシング 成年男子ライト 優勝 細野選手



▲ウエイトリフティング 少年男子 94kg級
スナッチ、ジャーク優勝 丹伊田選手



▲自転車競技 競技別総合優勝



▲テニス 成年女子 優勝 加藤選手

「応援」



財団法人福島県体育協会副会長
星 本文

昨年、アテネで開催されたオリンピックでの日本選手の活躍は、水泳、柔道、体操など目覚ましいものがあり、国民に多くの感動と元気を与えてくれたことは周知のことである。その中で、私は、特に北島康介選手はじめ好成績を残した選手たちが、国民の応援を力に換えて戦ったという趣旨のことをインタビューの中で述べていたのが大変印象深くあった。というのも、昨年は、応援の醍醐味を強く感じさせられた体験から、応援の持つ力という役割を強く認識させられたからである。

一つは、会津球場での夏の高校野球大会であった。私の勤務校である福島高校にとり、この試合は18年ぶりベスト8入りのかかった大事な試合であった。対戦相手は会津高校である。阿部、栗城両投手の見事なピッチングと両チームの好守備に支えられ、息詰まるような好試合を展開していた。両校の応援合戦も熱が入ってグラウンドとスタンドが一体となって戦っている様相であった。とりわけ雨の中での9回の攻防は、選手は勿論、応援する者も必死の面持ちで、あらん限りの声援を送った。激しく降り落ちてくる雨がいつそ球場にいる者すべての気持ちを一つにし、応援にかき立てたかのようである。そんなことから、応援のすばらしさを実感したのであった。

もう一つは、高体連の関係でいろいろな競技種目を観る機会があったが、そのたびに、それぞれの競技により応援の様子が違うことを知り、大変興味深く感じた。例えば、剣道の試合を観て拍手のみの応援の世界から、バスケット会場に行くとは鳴り物入りの応援でいやが上にも興奮させられてしまう。それぞれに、それ

なりの理由があるとのことである。応援の様子にも競技種目の個性化が現れていて大変興味深い。

応援は、何も競技に限ったことではない。応援される立場から考えると、人は実に多くの人から陰に陽に応援を受けていることに気付くのではないかと。それがそうではないのは、日常生活の忙しさに、ついつい意識させられることなく過ごしてしまうのが大部分の者のありようだからではないか。自分は、人によって生かされているとか応援されていると意識化する機会、従って非日常的な出来事のと看か、人生の節目の時期かということになる。また、応援する方の立場から考えると、自分の願望、期待を相手に託していることが多い。だから、応援の結果目的を達すると我が事のように嬉しいのであろう。

ところで、応援を力に換えることができた選手には、競技自体を楽しむ余裕があったと思う。勝つことだけに汲々とするのではなく、せっかくのオリンピックという大舞台なので十分試合を堪能しなければ、ということを一月に開催された全国高体連研究大会の講師として講演されたソフトの宇津木監督が話されていた。確かに、私自身全国大会に出場した選手には当然のことながら本県代表として好成績を期待しているのは事実だが一面では競技そのものを十分に楽しんで貰いたいという思いもある。高校生が全国大会に出場できるということは本当に大変なことであるし、それだけに名誉なことでもある。まさに晴れ舞台でもあるからである。

応援を楽しむ気持ちと競技を楽しむ心が一体になったとき人生におけるスポーツの持つ意義が最大限に生かされるのではないかとと思うが如何であろうか。

第59回国民体育大会成績概要

1 参加状況

大会区分	会期	開催地	団長	参加競技数	派遣人数			
					役員	監督等	選手	合計
冬季大会	平成16年1月28日(水)~2月1日(日)	青森県八戸市 三沢市・福地村	山口 勇	2	12	5	32	49
春季大会	平成16年2月21日(土)~2月24日(火)	山形県最上町 山形市・真室川町	大内 進	1 (1)	13	6 (17)	54 (4)	73 (22)
夏季大会	平成16年9月10日(金)~9月14日(火)	埼玉県川口市 他	武藤 敏治	6	17	22 (23)	109 (1)	131 (24)
秋季大会	平成16年10月23日(土)~10月28日(木)	埼玉県熊谷市 他	星 本文	29	18	56 (70)	295 (20)	369 (90)

1 参加競技数の()はバياسロンで外数 2 スケート・アイスホッケー競技会の監督のうち2名は選手兼任 3 派遣人数の()は競技団体派遣者数で外数

2 競技成績

大会区分	天皇杯				皇后杯			
	競技得点	参加点	得点合計	順位	競技得点	参加点	得点合計	順位
冬季大会	21.0点	30点	51.0点	24位	10.0点	20点	30.0点	21位
スケート競技会	12.0点	10点	22.0点	19位	5.0点	10点	15.0点	18位
アイスホッケー競技会	0.0点	10点	10.0点	11位	-	-	-	-
スキー競技会	9.0点	10点	19.0点	15位	5.0点	10点	15.0点	10位
夏季大会	208.0点	60点	268.0点	12位	132.0点	60点	192.0点	8位
秋季大会	364.5点	310点	674.5点	27位	91.0点	220点	311.0点	34位
合計	593.5点	400点	993.5点	21位	233.0点	300点	533.0点	22位



弓道 少年男子 遠的 第2位 栗川選手、船尾選手、安藤選手
《写真提供：福島民友新聞社》



ウエイトリフティング 少年男子 62kg級 ジャーク 優勝 黒江選手
《写真提供：福島民友新聞社》



陸上競技 成年女子 400M 優勝 丹野選手
《写真提供：福島民友新聞社》



陸上競技 少年男子B 走高跳 優勝 佐藤選手
《写真提供：福島民友新聞社》

もくじ

- 1 活躍する福島県選手
- 2 巻頭言
- 3 第59回国民体育大会成績概要
- 5 第60回国民体育大会冬季大会成績概要
- 6 日本一育成モデル事業報告
- 8 平成16年度表彰式
- 10 ふくしまスポーツフェスタにかわぬま
体育施設とスポーツ教室の紹介
「二本松市城山総合運動公園」
- 11 ニュースポーツ種目「バウンドテニス」
生涯スポーツ実践者紹介「スポーツと私」
- 12 指導者研修会及び全国表彰受賞者
- 14 みんなでつくろう総合型「総合型地域スポーツクラブバンビ」
- 15 スポーツと健康
INFORMATION
- 16 福島県民スポーツ振興協会会員名簿
編集後記

表紙：ウエイトリフティング 少年男子94kg級 スナッチ・ジャーク 優勝 丹伊田選手
テニス 成年女子 優勝 田口選手 加藤選手
ボクシング 成年男子ライト級 優勝 細野選手
自転車競技 競技別総合優勝 福島県
《表紙写真提供：福島民友新聞社》

3 秋季大会入賞状況

陸上競技 競技得点63.5点 天皇杯12位・皇后杯10位					
種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	100m	4	5	宮田 貴志	福島大学TC
	400mH	8	1	秋本 真吾	国際武道大学4年
	棒高跳	6	2.5	菅野 卓弥	本宮高校教員
成年女子	100m	7	2	松本真理子	福島大学TC
	400m	1	8	丹野 麻美	福島大学1年
成少女子	4×100mリレー	3	6	福島県	
				松本真理子	福島大学TC
				丹野 麻美	福島大学1年
				星 早苗	会津高校教員
				渡邊 佳夏	福島東高校3年
				紺野可奈子	橋高校2年
少年男子	A5000m	5	4	高嶺 秀仁	田村高校3年
	共800m	4	5	佐藤 大樹	橋高校2年
	B3000m	4	5	和田 健秀	原町高校1年
	B走高跳	1	8	佐藤 庸平	白河旭高校1年
	B砲丸投	2	7	山野辺 薫	湯本高校3年
少女女子	共棒高跳	8	1	渡邊 佳夏	福島東高校3年
	B200m	6	3	川口 夢加	福島東高校1年
	B砲丸投	3	6	柳沼 綾	日大東北高校1年

テニス競技 競技得点24.0点 天皇杯7位・皇后杯4位					
種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年女子		1	24	福島県	
				田口 景子	大東銀行
				加藤 沙絵	大東銀行
				佐藤 瞳	平商業高校教員

ボクシング競技 競技得点15.5点 天皇杯16位					
種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	フェザー級	5	2.5	斉藤 弘幸	大東文化大学4年
	ライト級	1	8	細野 悟	法政大学3年
	ライトウェルター級	5	2.5	遠藤 広大	平成国際大学2年
	ウェルター級	5	2.5	佐藤 矩彰	法政大学2年

体操競技 競技得点10.0点 天皇杯19位・皇后杯11位					
種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年女子	新体操	7	10	福島県	
				高木 弘美	福島成蹊高校教員
				矢澤 梨沙	福島成蹊高校3年
				羽田 真弓	福島成蹊高校2年
				穴戸 瞳	福島成蹊高校3年
				大越 麻美	福島成蹊高校1年
				佐藤 可苗	福島成蹊高校2年

レスリング競技 競技得点22.0点 天皇杯20位					
種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	フリースタイル55kg級	2	7	清水聖志人	クリナップ(株)
	フリースタイル74kg級	2	7	長島 和幸	クリナップ(株)
	グレコローマン84kg級	5	2.5	中里 充	田島高校教員
少年男子	フリースタイル120kg級	3	5.5	内海 達矢	喜多方工業高校3年

ウエイトリフティング競技 競技得点44.0点 天皇杯8位					
種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	53kg級スナッチ	8	1	佐久間勝彦	ゼビオ(株)
	+105kg級スナッチ	8	1	寺島 啓史	日本大学1年
少年男子	62kg級スナッチ	5	4	黒江 雄治	田村高校2年
	62kg級ジャーク	1	8	黒江 雄治	田村高校2年
	69kg級スナッチ	2	7	金子 和央	田村高校3年
	69kg級ジャーク	2	7	金子 和央	田村高校3年
	94kg級スナッチ	1	8	丹伊田裕真	田村高校3年
	94kg級ジャーク	1	8	丹伊田裕真	田村高校3年

自転車競技 競技得点62.0点 天皇杯1位					
種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	4km速度競争	2	7	糸賀 賢司	日本大学3年
	ポイントレース	8	1	明珍多久雄	日本大学4年
	4km団体追抜	3	18	福島県	
少年男子	1kmタイムトライアル	4	5	明珍多久雄	日本大学4年
				明珍 周兵	法政大学3年
				糸賀 賢司	日本大学3年
				小豆畑郁也	日本大学1年
				小林 彰夫	中央大学3年
				我妻 敏	学法石川高校2年
少年男子	4km速度競走	2	7	渡邊 正光	平工業高校2年
				房州 輝也	平工業高校3年
				福島県	
				房州 輝也	平工業高校3年
				中村 由広	学法石川高校3年
				我妻 敏	学法石川高校2年
少年男子	4kmの団体追抜	3	18	田崎 裕也	学法石川高校2年

ソフトテニス競技 競技得点5.0点 天皇杯20位・皇后杯12位					
種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年女子		8	5	福島県	
				中野日理津子	西郷村教育委員会
				小椋こずえ	東芝テック福島営業所
				赤羽 涼子	日東通信機(株)
				塩田 咲江	二本松南小学校教員
				石田 晴美	平野中学校職員
				大友 晶子	平野中学校職員
				間 友恵	日本大学工学部職員

軟式野球競技 競技得点8.0点 天皇杯19位					
種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年		8	8	ふくしまクラブ	
				松本一広	松本一風呂店
				小野 亨	NTT東日本福島支店
				河野 昭	日東紡織(株)福島第二工場
				島貫 誠一	日東紡織(株)福島工場
				東城 一弘	保原町役場
				壁谷澤教雄	東北フォレスト(株)福島工場
				佐藤 利幸	福島市教育委員会
				浦倉 弘之	福島市教育委員会
				村上 政邦	福島市教育委員会
				酒井 啓次	東芝カゴロイ(株)北工工場
				二瓶 一弥	仙建工業(株)郡山T-C
				渡邊 稔嗣	福島信用金庫八島田支店
				渡部 洋一	昨雲会 飯塚病院
				渡部 辰雄	昨雲会 飯塚病院
				小松 信幸	(有)レマ・グレイス

弓道競技 競技得点48.0点 天皇杯4位・皇后杯9位					
種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	近的	5	12	福島県	
				今泉 健志	日大東北高校教員
				熊田 英雄	県弓道連盟
				渡邊 敏樹	県弓道連盟
		小山 郁朗	南関東通信サービス		
成年女子	近的	5	12	福島県	
				小島 秀実	羽羽化学工業(株)
				根本久美子	米小学校職員
		大和田瑠美	(株)晶和		
		加藤 リエ	相馬市役所		
少年男子	近的	2	21	福島県	
				豊田 則夫	相馬農業高校教員
				栗川 和博	田島高校3年
				船尾 拓也	安積高校3年
		安藤 和輝	福島工業高校3年		

柔道競技 競技得点12.5点 天皇杯10位・皇后杯14位					
種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年男子		5	12.5	福島県	
				佐藤 裕隆	川俣高校教員
				塙 健	福島工業専門学校3年
				馬上 忠通	平工業高校3年
				内藤 雄大	田村高校1年
				笠井 真幸	田村高校3年
				緑川 和輝	田村高校3年

山岳競技 競技得点21.0点 天皇杯13位・皇后杯22位					
種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	縦走	2	21	福島県	
				今井 恒夫	あだたら山の会
				菅野 富寿	松川クリニック
				真船 孝道	福島学院大学職員
				山田 泰広	福島市役所

ライフル射撃競技 競技得点4.0点 天皇杯37位・皇后杯25位					
種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年女子	50mP60W	5	4	落合 里沙	日大東北高校教員

馬術競技 競技得点16.0点 天皇杯18位・皇后杯27位					
種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	トップスコア	6	3	菅野 仁	いわきホースパーク
	六段階障害飛越	5	2	大瀧 啓之	東京農業大学4年
少年	二段階障害飛越	3	6	松木もも子	橋高校3年
	標準障害飛越	4	5	松木もも子	橋高校3年

フェンシング競技 競技得点3.0点 天皇杯22位・皇后杯14位					
種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	フルーレ	8	3	福島県	
				大河内正宏	藤沼製鉄(株)福島工場
				齋藤 貴広	星鉄鋼
				清野 明	法政大学4年
				田代 大幸	中央大学3年

銃剣道競技 競技得点6.0点 天皇杯10位					
種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子		7	6	福島県	
				佐藤 亨	福島自衛隊
				桑田 文人	福島自衛隊
				坂本 勝彦	福島自衛隊

第60回国民体育大会冬季大会成績概要

1 参加状況

大会区分	会期	開催地	団長	参加競技数	派遣人数				
					役員	監督等	選手	合計	
冬季	スケート競技会	平成17年1月30日～2月3日	山梨県富士吉田市 他	星 本文	2	14	5	39	58
	アイスホッケー競技会	平成17年2月2日～2月6日	東京都渋谷区 他						
	スキー競技会	平成17年2月22日(火)～2月25日(金)	岩手県安代町	浅川 静英	1(1)	15	6(21)	52(5)	73(26)

1 参加競技数の()はバイアスロンで外数 2 派遣人数の()は競技団体派遣者数で外数 3 スケート・アイスホッケー競技会の監督のうち1名は選手兼任

2 競技成績

大会区分	天皇杯				皇后杯				
	競技得点	参加得点	得点合計	順位	競技得点	参加得点	得点合計	順位	
冬季	スケート競技会	10.0点	10点	20.0点	23位	2.0点	10点	12.0点	21位
	アイスホッケー競技会	0.0点	10点	10.0点	12位	-	-	-	-
	スキー競技会	12.0点	10点	22.0点	14位	8.0点	10点	18.0点	9位
合計	22.0点	30点	52.0点	24位	10.0点	20点	30.0点	22位	

3 入賞状況

スケート競技 競技得点10.0点 総合順位 23位					
種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年女子	2,000m リレー	7	2	遠藤 千種	仙台医療秘書福祉専門学校
				長尾 ナツエ	大妻女子大学2年
				松尾 弘美	(株)ランチボックス
				鈴木 洗翔	東北福祉大学1年
少年男子	5,000m	5	4	鈴木 洗翔	郡山北工業高校3年
	10,000m	6	3	鈴木 洗翔	郡山北工業高校3年
	2,000m リレー	8	1	田中 幸賢	清陵情報高校3年
				香月 文	猪苗代高校1年
				佐藤 健司	郡山北工業高校2年
				鈴木 洗翔	郡山北工業高校3年

スキー競技 競技得点12.0点 総合順位 14位					
種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年女子B	カヌート	3	6	小檜山 千佳	郡山自衛隊
				磯貝 圭	会津自然の家
成年男子B	コンビ	5	4	渡部 巧	会津学鳳高校教員
成年女子A	Aジャンプ	8	1	三星 佳代	(財)福島県体育協会



スキー 成年女子B 第3位 小松山選手

(写真提供: 福島民友新聞社)



スケート 少年男子 10,000m 第6位 鈴木選手 (写真提供: 福島民友新聞社)

日本一育成モデル事業報告

本事業は、平成15年度、16年度の2年間にわたり、郡山東高校女子ハンドボール部を対象に、技術（テクニカル） 体力（フィジカル） 精神（メンタル） 医学（メディカル） 情報の各方面からサポートを行い、全国トップレベルの選手育成を目的に実施したものです。これまでのサポートの内容と、事業の成果と課題について報告します。

テクニカルサポート

県ハンドボール協会のスタッフの方々に加わっていただきながら県外合宿12回、県内合宿13回を実施した。関東地区への遠征では全国から集まったインターハイ常連高や高いレベルの大学と練習試合を行い、スピード・パワー・戦術に対する課題を克服しながら徐々に力をつけていった。県内合宿においても様々なタイプのチームを招聘し、内容の濃い練習を行った。また、日本を代表するコーチの方を講師として招き、技術や練習方法の指導を受けた。ハンドボール以外の側面では、古武術の講習会に参加するなどした。



郡山東高等学校女子ハンドボール部

フィジカルサポート

福島大学の川本和久教授の指導をいただき、ハンドボールの動きを支える筋力トレーニングを行った。体幹を鍛えるトレーニングや、速く走るための練習法を毎日の練習の中で実践し、あたり負けしないパワーとスピードを身につけていった。

アスレチックトレーナーの鬼澤武則先生には、トレーナーとして大会に帯同し、選手の体のケアやケガの処置を行っていただいた。監督、選手との信頼関係が構築され、試合において心と体の両面で十分に力を発揮することができた。

栄養面では山崎有理子管理栄養士の指導を受け

た。スポーツ選手に必要な食事について、また、食事の摂り方やサプリメントの使用について、保護者会で保護者を巻き込んだ食事指導を行った。



監督の矢作英樹先生

メンタルサポート

福島大学の白石豊教授によるメンタルトレーニングの講義を15回実施した。「日本一」という目標を強く意識することにより、選手たちが大きく変わっていった。日常生活、練習、試合を、さまざまなメンタルスキルによって目標達成のための行動につなげていく指導がなされた。選手たちの成長にとってメンタル面の充実は非常に大きな要素であった。



白石豊先生のメンタルトレーニングの講義

メディカルサポート

公立藤田総合病院の堀川哲男先生を中心に、メディカルチェック、体力測定と、けが、故障への対応を行っていただいた。貧血等の改善や、整形外科的チェックは、安全で有効なスポーツ活動のための土台となるものであり、また、体力測定は、競技力を高めるための指標として活用された。ケガ予防のためのトレーニングやテーピング、けがの初期治療の方法を指導していただいた。



最大酸素摂取量の測定



整形外科的チェック

情報提供

会津大学の中澤謙先生の協力を得て、動作解析を行い、選手個々のシュートやフェイントの動きをデータとして提供した。また、ゲーム分析ソフトを使ってミーティング用のビデオを編集し、対戦相手の動きを分析した。

成果と課題

監督の矢作英樹先生は、“この事業を通じて様々なサポートを受けながら、以前は夢でしかなかった日本一が、しっかりとした目標に変わった”と述べています。残念ながら、全国選抜ベスト8が最高の成績であり、日本一という目標は達成できませんでしたが、選手、監督、県協会の中には、多くの財産を残すことができました。今後も、日本一になるという確かな思いを継続させることによって、福島県のハンドボールが全国で戦っていけるチームを必ずや輩出することでしょう。

本事業は、競技力向上のためのサポート体制を研究するという目的もありました。各サポートにおいてはかなりの成果を上げることができたものの、各サポート間での横のつながりが十分ではなく、データの共有や検証、フィードバックの機能が足りなかったといえます。より高いレベルでのステップアップを図るには、総合的な検証会議が計画的に実施され、プロジェクトとしての組織を確立していかなければなりません。

県体協としては、本事業の他競技への波及を進めるため、発展した形での事業の継続と情報発信に努めてまいります。

成績

	大会名	期 日	会 場	主な戦績	結 果
平成15年度	県春季選手権大会	4月18～20日	本宮町	決勝 郡山東15 - 13光南	優勝
	県高校体育大会	6月7～9日	福島市	決勝 郡山東33 - 12安達東	優勝
	東北高校選手権大会	6月19～22日	秋田県	1回戦 郡山東20 - 21盛岡第二	1回戦敗退
	県総合体育大会	7月12～14日	本宮町	決勝 郡山東29 - 20安達東	優勝
	全国高校総合体育大会	7月28～8月3日	長崎県	3回戦 郡山東14 - 21夙川学院	ベスト16
	東北総合体育大会	8月22・23日	青森県	準決勝 福島選抜16 - 17宮城	3位
	県高校新人体育大会	11月14～16日	郡山市	決勝 郡山東27 - 8光南	優勝
	東北高校選抜県大会	1月10・11日	石川町	リーグ戦 郡山東21 - 10光南	優勝
	東北高校選抜大会	2月6～8日	福島市	決勝 郡山東24 - 17大曲農業	優勝
	全国高校選抜大会	3月27～29日	神奈川県	準々決勝 郡山東19 - 27小松市立	ベスト8
平成16年度	県春季選手権大会	4月23～25日	本宮町	決勝 郡山東27 - 8光南	優勝
	県高校体育大会	6月5～7日	郡山市	決勝 郡山東22 - 10光南	優勝
	東北高校選手権大会	6月24～26日	宮城県	決勝 郡山東21 - 19大曲農業	優勝
	県総合体育大会	7月10～12日	本宮町	決勝 郡山東19 - 15光南	優勝
	全国高校総合体育大会	8月2・3日	山口県	2回戦 郡山東15 - 21夙川学院	2回戦敗退
	東北総合体育大会	8月20・21日	岩手県	リーグ戦 福島選抜13 - 24秋田	予選敗退

日本女子ジュニア代表(U-19)大河内 香

表彰式

平成16年度財団法人福島県体育協会表彰式は、平成16年11月29日（月）午前10時30分より、福島市の「ウェディングエルティ」で開催されました。
式では、各賞受賞代表者に会長の佐藤栄佐久知事より表彰

状と記念品が授与され、県議会議長の加藤貞夫様、県教育長 富田孝志様の祝辞の後、受賞者を代表して大竹 孝様より謝辞がありました。

懇談会では、受賞者と会長とのスナップ撮影や、会長をはじめ来賓の皆様より受賞者一人ひとりへお祝いと激励がなされました。

今回受賞された皆様をご紹介します。（敬称は省略させていただきます。）



スポーツ功労賞者（多年にわたり、本協会の運営並びに事務遂行に貢献し、本県スポーツの振興に功績のあった方々）

青木 信博(福島県ソフトテニス連盟)	菅野俊文(福島県柔道連盟)	荒谷 幸作(福島県アーチェリー協会)	大竹 孝(福島県なぎなた連盟)
菅野 敬(東北地域連合会)	佐藤 茂光(会津地域連合会)	片山 春雄(福島県山岳連盟)	

優秀選手賞(個人)（本県を代表して全国大会に出場し、優れた成績を収めた選手及び国際大会に出場した選手）

陸上競技	高嶺 秀仁(県立田村高等学校3年)	村上 雪菜(いわき市立小浜第二中学校2年)	柳沼 志帆(鏡石町立鏡石中学校3年)	田嶋 和也(白河市立白河第二中学校2年)
	鈴木 奏美(県立小高工業高等学校3年)	佐藤 明(県立喜多方高等学校3年)	秋本 真吾(国際武道大学4年)	古川 幸恵(仙台大学2年)
	菅野 卓弥(県立本宮高等学校)	山野辺 薫(県立湯本高等学校3年)	吉田 真希子(FSG カレッジリーグ)	松本 真理子(福島市立福島第三中学校)
	丹野 麻美(福島大学1年)	佐藤 庸平(県立白河旭高等学校1年)	柳沼 紘(日大東北高等学校1年)	山田 修平(福島市立蓬萊中学校2年)
	梶 将徳(白河市立白河第二中学校2年)	川口 夢加(県立福島東高等学校1年)		
ソフトテニス	伊東 紗季(郡山市立郡山第四中学校2年)	古宮 茉衣(郡山市立郡山第四中学校3年)	薄葉 彩(西郷村立熊倉小学校6年)	大槻 颯(西郷村立米小学校6年)
卓球	深谷 秀三(郡山市富田公民館)	深谷 由美(県立喜多方東高等学校)	深谷 純子(郡山ザベリオ学園小学校)	瓜生 恵美(喜多方市教育委員会)
	須藤 志津(熱塩加納村立熱塩小学校)			
ボート	福地 愛(仙台大学2年)	田部 洋一(オンセミダグタ)		
水泳	高橋 恵美(保原町立松陽中学校1年)	加藤 和(桜の聖母学院中学校3年)	山田 浩平(相馬市立向陽中学校2年)	二瓶 光(郡山市立第七中学校3年)
	山口 雅文(中央大学2年)	三浦 俊樹(財)郡市公園協会)	江川 克彦(県立清陵情報高校3年)	西川 友章(県立清陵情報高校)
	小林 和真(郡山市立郡山第一中学校1年)			
自転車	桐生 順平(学校法人石川高等学校3年)	房州 輝也(県立平工業高等学校3年)	佐藤 智子(原町市立大槻小学校)	小林 彰夫(中央大学3年)
	明珍 多久雄(日本大学4年)	明珍 周兵(法政大学3年)	佐藤 系賢(日本大学3年)	湯室 紘(朝日大学1年)
	渡邊 正光(県立平工業高等学校2年)			
ライフル射撃	道山 恵美(私立仁愛高等学校3年)			
バドミントン	斎藤 亘(原町市立原町第三中学校)			
アマチュアボクシング	原田 鉄也(県立相馬農業高等学校3年)	細野 悟(法政大学3年)		
柔道	石澤 鮎美(県立浪江高等学校3年)	郡司成晃(小野町立小野中学校3年)		
スケート	高橋 千昭(中通り広域スポーツセンター)			
馬術	松本もも子(県立橋高等学校3年)			
ウエイトリフティング	黒江 将伸(日本大学1年)	寺島 啓史(日本大学1年)	黒江 雄治(県立田村高等学校2年)	金子 和央(県立田村高等学校3年)
	丹伊田裕真(県立田村高等学校3年)	清野 裕司(県立相馬農業高等学校)	佐藤 慶士(中央大学1年)	本多 滋(法政大学1年)
レスリング	渡部 高康(東京農業大学1年)	平野 春菜(田島町立田島中学校3年)	湯田 章悟(田島町立田島中学校3年)	渡部 悠香(県立田島高等学校2年)
	渡部 沙織(田島町立荒海中学校3年)	渡部由佳梨(田島町立荒海中学校2年)	清水聖志人(クリナップ(株))	長島和幸(クリナップ(株))
	内海達矢(県立喜多方工業高等学校3年)			
フェンシング	鈴木 隼生(いわき市立第一中学校3年)	遠藤 高之(いわき市立好開第四小学校6年)	草野 広美(いわき市立中央台北中学校3年)	
アーチェリー	渡邊 香織(県立福島南高等学校3年)			
なぎなた	新田 葵(会津若松市立第二中学校3年)	星 円佳(会津若松市立第二中学校3年)	渡部 秀人(会津若松市立第二中学校3年)	松村 俊祐(会津若松市立第一中学校3年)
	平野あかね(会津若松市立第四中学校3年)	遠藤 通香(会津若松市立第四中学校3年)		
ボウリング	渡辺 未希(株)ケーエス)	竹俣 茉取(会津若松市立第五中学校3年)	伊藤 文(東北装美)	
カヌー	鉄地河原歩(大正大学3年)	高橋 宏美(県カヌー協会)	大内百合子(東京女子体育大学2年)	和田 藍加(大教介マンスイグ 二本松校)
	山口 智子(県立安達高等学校3年)	久野 綾香(県立安達高等学校2年)	佐藤 寛子(県立安達高等学校3年)	斎藤 綾子(県立安達高等学校3年)
	菅野 美樹(県立安達高等学校2年)	菅野 瑞穂(県立安達高等学校2年)	佐藤由美子(筑波大学3年)	佐藤 絵美(筑波大学4年)
	佐藤 滋(県カヌー協会)			
トランポリン	廣瀬 由美(尚志高等学校2年)	管澤奈緒美(郡山ゴルフクラブ)		
障害者スポーツ	鈴木 猛史(県立苗代高等学校1年)	増子 恵美(財)障害者スポーツ協会)	田村 正志(有)オートテクノ)	小島 隆俊(大笹生養護学校高等部2年)

優秀選手賞(団体)（本県を代表して全国大会に出場し、優れた成績を収めた団体）

陸上競技	第31回全日本中学校陸上競技選手権大会400mリレー 日本中学校新記録白河市立白河第二中学校、第73回日本学生陸上競技対校選手権大会女子4×100mR福島大学、第73回日本学生陸上競技対校選手権大会女子4×400mR福島大学、第59回国民体育大会陸上競技成年少年女子共通4×100mR福島県、平成16年度ジュニアオリンピック陸上競技大会BCD共通男子4×100mR福島県、平成16年度ジュニアオリンピック陸上競技大会BCD共通女子4×100mR福島県
軟式野球	第26回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会小名浜少年野球教室
ソフトテニス	第15回都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会福島県女子選抜チーム
テニス	第59回国民体育大会テニス競技成年女子福島県
剣道	第46回全国教職員剣道大会男子団体福島県教職員チーム
ボート	第59回国民体育大会ボート競技少年女子舵手付きクォドルブル福島選抜、第54回全日本社会人ボート選手権大会男子ナックルフォア会津磐梯滑会、第15回全国高等学校選抜ボート大会女子舵手付きクォドルブル福島県立湖南高等学校
自転車	平成16年度全国都道府県対抗自転車競技大会4Kmチームパーシュートル福島県選抜チーム、平成16年度全国高等学校総合体育大会自転車競技4Kmチームパーシュートル学校法人石川高等学校、平成16年度全国高等学校総合体育大会自転車競技4Kmチームパーシュートル福島県立平工業高等学校、第59回国民体育大会自転車競技少年男子4Km団体追抜福島県、第59回国民体育大会自転車競技成年男子4Km団体追抜福島県
バスケットボール	第42回男子全日本教員バスケットボール選手権大会福島県教員A、第34回女子全日本教員バスケットボール選手権大会福島県教員
バドミントン	平成16年度全日本教職員バドミントン大会男子団体福島選抜
弓道	第59回国民体育大会弓道競技少年男子遠的福島県
フェンシング	平成16年度全国少年フェンシング団体選手権大会中学校男子福島県、平成16年度全国少年フェンシング団体選手権大会中学校女子福島県、平成16年度全国少年フェンシング団体選手権大会小学校男子いわきフェンシングスポーツ少年団
山岳	第59回国民体育大会山岳競技縦走福島県
空手	第23回全国高等学校空手道選抜大会男子団体組手学校法人福島高等学校
アーチェリー	平成16年度全国高等学校総合体育大会高円宮賜杯第37回全国高等学校アーチェリー選手権大会福島県立福島南高等学校
ボウリング	第59回国民体育大会ボウリング競技少年女子団体福島選抜
カヌー	第59回国民体育大会カヌー競技フラットウォーターレーシング・カヤックフォア500m福島県少年女子、第59回国民体育大会カヌー競技フラットウォーターレーシング・カヤックフォア200m福島県少年女子、平成16年度全国中学校カヌー大会K4-500m東和町立東和中学校
トランポリン	第29回全国高等学校トランポリン競技選手権大会男子団体尚志高等学校、第29回全国高等学校トランポリン競技選手権大会女子団体尚志高等学校
綱引	2004全日本ジュニア綱引選手権大会若宮スピリッツ、2004全日本ジュニア綱引選手権大会YPさすがアニキーズ

優秀指導者賞（優秀選手の育成に直接貢献した指導者）

陸上競技	川本 和久(福島大学)	フェンシング	鈴木 生央(福島整肢療護園)
	山内 淳一(県立喜多方高等学校)		今野 貴子(川俣町立川俣中学校)
軟式野球	小和口有久(会社員)	山岳	今井 恒夫(自営業)
ソフトテニス	紺野 芳一(葛尾町立葛尾中学校)	空手	松原 光(私立松栄高等学校)
剣道	吉崎 勝(県立磐城高等学校)	アーチェリー	小林 浩子(県立福島南高等学校)
ボート	渡部 宗晴(県立湖南高等学校)	ボウリング	伊藤 寛(郡山市中学校給食センター)
自転車	鎌田 弘史(学校法人石川高等学校)	カヌー	小久保英一知(県立安達高等学校)
	小松 久勝(県立平工業高等学校)		齋藤 里加(東和町立東和中学校)
バスケットボール	山崎 高司(県立福島工業高等学校)	トランポリン	遠藤 静子(学校法人尚志学園尚志高等学校)
	佐久間仁徳(郡山総合体育館)	綱引	鈴木 雅行(東電環境エンジニアリング(株))
ウエイトリフティング	小野寺浩徳(福島県立田村高等学校)		上野 隆(会社員)

社会体育優良団体賞（地域・職域のクラブとしての活動を透して、本県の地域スポーツ振興に功績のあった団体）

- ・白河立教館(福島県剣道連盟)
- ・二本松スキークラブ(福島県スキー連盟)
- ・会津翫竹なぎなたクラブ(福島県なぎなた連盟)
- ・会津向井流水法会(会津地域連合)

特別賞（国民体育大会の競技別優勝や世界大会で特に顕著な活躍をした団体・個人）

伏見 俊昭	第28回オリンピック競技大会(2004アテネ)において、自転車競技(チームスプリント)に出場し、第2位(銀メダル)に入賞した。
班目 秀雄	第28回オリンピック競技大会(2004アテネ)において、自転車競技チームのコーチとして出場、伏見俊昭選手を含むチームの第2位(銀メダル)取得に大きく貢献した。
佐藤 光浩	第28回オリンピック競技大会(2004アテネ)において、陸上競技(男子4×400mリレー)に出場し、第4位に入賞した。
福島県自転車競技連盟	第59回国民体育大会において、競技別総合優勝を果たした。



ふくしまスポーツフェスタ2004 inかわぬま

(兼第24回福島県レクリエーション大会)

広く県民に生涯スポーツの振興とスポーツ活動の機会や場の提供を目的に行われているこの大会は、平成16年11月7日(日)をメイン会期として3,701名の参加者が集い、河沼郡内各公共施設において下記の種目を実施いたしました。

子どもから大人まで世代の交流を通し、楽しみながらスポーツに親しむ良い機会です。来年度は伊達郡内での開催が予定されています。みんなで参加しましょう。

参加人数(人)

競技種目	インディアカ	141人	パークゴルフ	290人	チュックボール	60人
	バドミントン	64人	ソフトバレーボール	468人	木球	32人
	綱引き	308人	グラウンド・ゴルフ	449人	バウンドテニス	32人
	ターゲット・バードゴルフ	110人	ペタンク	114人	ラージボール卓球	127人
	オリエンテーリング	41人	ディスクゴルフ	80人		
実践種目	3B体操	341人	レクリエーションダンス	84人	社交ダンス	55人
	フォークダンス	153人	キャンプ	31人	ネイチャーゲーム	78人
	武術太極拳	177人	健康ウォーキング	40人		
	体験ひろば	266人	日本民謡	160人		
	全国ニューススポーツフェスティバル北海道・東北ブロック大会の体験コーナーとして実施					



ターゲット・バードゴルフ(湯川村営野球場)



インディアカ(河東総合体育館)



バドミントン(湯川村立勝常小学校体育館)

体育施設とスポーツ教室の紹介

ほんとうの空の下でさわやかな汗を流そう

城山総合運動公園

二本松市の運動公園施設は、県立霞ヶ城公園の北側に整備されており、UFOを思わせる円形の城山総合体育館(バレーボール4面・バスケットボール2面・屋内ランニングコース一周200m)をメイン施設として、城山第二体育館(バレーボール2面・バスケットボール2面・トレーニング室)、多目的グラウンド(野球2面・ソフトボール4面・400mトラック、いずれもナイター照明可能)、庭球場(クレーコート6面・全天候型コート6面、全コート照明)、屋内ゲートボール場(2面)などがあり、年間83,000人の方が健康・

体力づくりに利用しております。

県立霞ヶ城公園は、桜、ふじの花、紫陽花、もみじ、菊人形等四季を通じて

市民の憩いの場として利用されております。

また、3月下旬には、公園内のアップダウンコース・遊歩道を利用した霞ヶ城クロスカントリー大会が開催され、全国から多くのマラソンランナーが訪れております。

スポーツで心地よい汗を流したあとは、城址公園内を散策するのもいいですし、近くの岳温泉・塩沢温泉で疲れを癒すことも出来ます。

交通の案内図



問い合わせ先
二本松市教育委員会生涯学習課
〒964-8601福島県二本松市金色403-1
TEL0243-23-1111 FAX0243-22-3147

ニューススポーツ種目の紹介

「バウンドテニス」

福島県バウンドテニス協会
理事長 大塚星一郎

バウンドテニスは、1980年にメルボルンオリンピックのゴールドメダリスト笹原正三氏により考案・開発され、現在では全国都道府県に支部協会を設置し、(財)日本体育協会に加入、文部科学省等が主催する生涯スポーツの祭典「全国スポーツ・レクリエーション祭」の正式競技種目に採用されております。もちろん、福島県バウンドテニス協会も県及び関係機関のご指導により毎年選手を派遣しております。

基本的なルールはテニスとほぼ同様で、テニスコートの6分の1のスペースがあれば、室内外を問わずプレーは可能です。コートの広さは3m×10m、中央に高さ50cmのネットによって二分されます。ラケット及びボールはソフトテニスのラケットのグリップ部分が20cmくらい短く、ボールは一回り小さいとお考えください。

現在一般的には、人工芝コートを使用し、室内でプレーを行いますのでシーズンオフはなく、年間を通して競技は可能です。個人の体力、年齢に応じたプレーができ、スポーツとしてのバランス感覚、敏捷性、瞬

発力が養成でき、運動量も適当にあり、運動不足、ストレス解消、体力づくりに最適です。

福島県主催の総合体育大会、スポーツフェスタ、ねんりんピックをはじめ、福島県バウンドテニス協会、市、郡協会、クラブが各々主催する楽しい競技会が盛り沢山です。

「習うより慣れる、継続」の軽い気持ちで“やってみませんか”。

お待ちしております。



問い合わせ先

福島県バウンドテニス協会事務局
TEL 024 - 582 - 5874

生涯スポーツ実践者の紹介

スポーツと私

福島県ディスクゴルフ協会
会長 永林 忠



ディスクゴルフ競技の魅力に駆られて10年になります。その間、すこやか福島ねんりんピック、スポーツフェスタ、ゴルフラリー等の企画運営にあたりながら、プレーヤーとしても活躍してきました。そのような中、平成16年度に、浜通り、中通り、会津の計5地域でディスクゴルフ・オープントーナメントを計画し、原町オープン・会津オープン・福島オープン・県南玉川オープン・いわきオープン(3月27日予定)を県内各地域の普及活動を兼ね、地元協会主管で実施しました。



各地区とも60名前後の愛好者が参加して、盛会裡に交流を深めることができました。

一方、8年前には北信シルバー卓球愛好会を立ち上げ、毎月2回楽しんでる他、地域に根ざした生涯スポーツと考え、ディスクゴルフに興じる以外にグラウンド・ゴルフ愛好会も立ち上げ3年目を迎えております。104世帯の小さな町内会員が中心になり、32名の愛好者が北信公民館庭で毎週3回の練習に取り組んでおります。県内の各種大会で上位の入賞者も出るようになり、和気あいあいとコミュニケーションを図りながら練習に励んでいます。

このように、ディスクゴルフだけではなくグラウンド・ゴルフ、ラージ卓球、ペタンク等、休む暇もなく、こよなくニューススポーツを楽しみながら、地域住民のスポーツ振興に貢献していると自負しているところです。

平成16年度 財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者等表彰

去る平成16年12月18日（土）、ホテル海洋（東京都）にて（財）日本体育協会公認スポーツ指導者の全国表彰が行われました。

長年の指導歴が評価され、本県からは4名の方が受賞されました。この4名の受賞により、現在までに本県からは計32名の受賞者を輩出したことになります。

良き指導者のもと、本県のスポーツ界がより発展することを期待したいと思います。

受賞者紹介



福島県スポーツ指導者協議会副会長

長谷部 昭一郎氏（伊達郡月舘町）

（有資格）
・C級スポーツ指導員
（卓球、バドミントン）

平成16年12月18日（土）、平成16年度公認スポーツ指導者全国研修会に於いて、指導者等表彰式が東京のホテル海洋で開催されました。

その席上全国指導者200余名の中の1人に加えていただき大変光栄に思っています。

素晴らしい指導実績を持つ多数の諸先輩がおられるにもかかわらず、推薦して下さった関係各位に心から感謝を申し上げます。

受賞にあたり、「表彰されるほどの活動をしたのか？」と自問自答しましたが、指導者として育て、活動に協力してくれた諸先輩や仲間、活動を指導して下さり受賞を推薦して下さった機関及び関係者の皆様のご支援にお応えするには、素直に受賞こそがと気づいた次第です。



福島県スポーツ指導者協議会副会長

高橋 基廣氏（白河市）

（有資格）
・C級スポーツ指導員
（バドミントン）

表彰式は盛大な中にも、厳粛に執り行われました。受賞者の名前が呼ばれた瞬間、私は何か熱い感動を覚えました。それまでは、表彰の話を県体育協会より受けたときの、何か照れくさいような恥ずかしさ、何とも言えない心の動揺が続いておりました。「表彰に足るべき事を行ってきたのかな……」、まだまだ優秀な諸先輩がおられる中で、己を推薦していただいたということは『更に将来に向けてガンバレ』という期待と捉え、自己研鑽を重ね、微力ではありますが一層努力して参る所存ですので、よろしくご指導の程お願い申し上げます。

全国研修会の内容としては、特別講演「選手を生かす名監督の言葉」をスポーツ・アナリスト/北区教育委員会 教育委員長 西田善夫氏。講演「コミュニケーション・スキル」～子どもの考える力とやる気を引き出すスキル～ つくば言語技術教育研究所 所長 三森ゆりか氏。どちらも言葉の大切さ、能力を引き出すための必要さ、等々を改めて感じたものでした。

最後に、「スポーツによる社会貢献」～スポーツに何ができるか～ というテーマで、宮島泰子氏（テレビ朝日アナウンサー）がコーディネーターとなり、荒井貞光氏（広島大教授）、大沢勇氏（海外専攻 派遣研修員）、生重幸恵氏（東京都生涯学習審議委員）らがシンポジストとして討論が行われ、全国研修会が終了しました。

研修会終了後の情報交換会では、同じ悩み・苦しみ・感激・喜びを持つもの同士であることを、再認識したところです。

この度の受賞の感激を忘れることなく、さらに自己研鑽を重ねる所存ですので、皆様方のさらなるご指導ご鞭撻を編にお願い申し上げます。

私とスポーツとの関わりは職場での昼休みの余暇時間でした。そして先輩に誘われ、仕事終了後の練習へと熱が入りました。それがバドミントンであり、当時は普及途上、そんな矢先に公認スポーツ指導者として競技力の向上は勿論、生涯スポーツとして、種々のスポーツを愛し、豊かで活力ある生活を目指して地域スポーツ普及に取り組んできました。楽しめるスポーツ、「継続は力なり」をモットーにクラブづくりや競技団体の組織の充実に向け参画し、裏方で邁進して来ましたが、やはり反省の連続、オリンピックやJリーグ等の冠大会も重要であります。地域の人々一人一人が健康で生き生き人生が送れるように、『生涯スポーツを！』のローガンのもとに公認スポーツ指導者制度を更に充実すべく、組織の一員として協力して参りたいと考えております。スポーツは、深い意味での仕事、つまり、体を動かすことから始まる。皆さん、「一足の運動靴からはじめましょう。」

受賞者紹介



ARQ（アスリートコンディショニングクリニック）クリニック
よしだ整形外科 院長

吉田 仁郎氏（福島市）

（有資格）
・スポーツドクター

昨年12月18日に財団法人日本体育協会より公認スポーツドクターとして表彰していただきました。今回、このような栄誉を賜れたのも、ひとえに皆様のおかげであると感謝申し上げます。

さて、これまでの自分史を振り返ると、中学時代は野球で肩を壊してしまい、野球少年としての活躍はあきらめ、実践スポーツではなく、競技者をサポートに関わる何かできればいいなと考えていた頃でした。そして、雑誌でNFLにおいてスポーツドクターという存



待井循環器科内科クリニック 院長

待井 一男氏（福島市）

（有資格）
・スポーツドクター

春とは名のみの昨今ですが、野球、サッカー、ゴルフ、マラソンなど、様々なスポーツの話題が聞かれるようになりました。老若男女を問わず、自らスポーツをして楽しんだり、観戦に熱中したりすることにより、スポーツに関わる人口は増加の一途をたどっています。そんな中「スポーツは諸刃の剣」と言われていることを忘れてはならないと思います。物事には明暗二相があるように、スポーツにも良い面と悪い面があります。

私が、スポーツ医学に興味を持ったのは、大学病院に勤務していた30年程前です。主として心臓病の患者さんを専門に診療していたので、学校検診の心電図検査で異常が見つかり、クラブ活動や体育の授業を行って良いか否かの判定を求めて来院する児童・生徒がた

在を知り、医師として、競技者のサポートができればいいなという思いに至った時代でもありました。そんな思いを経て、現在、競技スポーツや生涯スポーツに参加されている方々のコンディショニングに携われる立場で活動ができることに感謝しています。そして、指導者や保護者の方々にもご協力やご理解を得て活動できる場を与えていただけたことに感謝申し上げます。これからも、クリニック内だけではなく、フィールドに出て、スポーツに関わる故障者を減らすための工夫や故障者のスポーツ現場への復帰のためサポートを継続していきながら、科学的な根拠に基づくサポートを心がけていきたいと存じます。

最後に、この栄誉は周りの方々のサポートがあり、初めてなし得たものであり、皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

くさんいました。スポーツは心臓に負担のかかる行動です。だからこそ、心臓病の有無をチェックし、その人にあった運動処方を決めることが大切になります。そのためには、メディカルチェックが必要です。メディカルチェックの面で、スポーツ医学に携わりたいと思い、日本体育協会公認のスポーツドクターの資格を取り、現在に至っております。

開業してからは、学校検診で心電図異常を指摘された児童・生徒を精査する機会は減りましたが、心臓病や高血圧を有する中高年者のリハビリや運動の可否、運動処方の決定に、メディカルチェックを役立てております。

スポーツドクターとして、どれほど貢献できたのだろうか、私自身疑問に思うところではありますが、今回全国表彰されたのは、本宿先生（医科学委員長）はじめ関係者の皆さまのお陰と、深く感謝しております。これからも微力ながら、皆さんが安心してスポーツを楽しめるように努力する所存ですので、よろしく願いいたします。ありがとうございました。

お知らせ

（財）日体協公認スポーツ指導者資格更新のためには各種目により定められた義務研修会を受講しなければなりません。有効期限を確認し、有効期限内に最低1回は受講してください。本年度本県では9月、12月、2月に予定しております。詳しい日程等については県体育協会生涯スポーツ係までお問い合わせください。

スポーツクラブバンビィ

笑顔で生き生きとスポーツを楽しもう会津坂下町

【問い合わせ先】
(財)会津坂下町スポーツ
振興公社内
Tel 0242-83-3755
Fax 0242-83-3896



会津地方西部に位置する会津坂下町(人口約2万人)に町のイメージキャラクター「バンビィ」をマスコットとしたスポーツクラブを平成15年10月13日(体育の日)に設立しまし

フレンドリーサークル

バレーボール・太極拳
ソフトテニス・卓球
グラウンドゴルフ
バドミントン
ダブルダッチ
アクアビクス

スポーツ強化スクール

サッカー・バドミントン
バレーボール・ミニバスケ
柔道・剣道・綱引

生涯にわたって誰もが気軽にスポーツを親しむことができるスポーツ環境の基盤づくりをしています。少子化で団体競技をしたくてもできないため1つのチームを作り活動を支援しています。高齢者の方々をはじめとして多くの方が健康のために運動をする機会を提供しています。



フレンドリーサークル
(太極拳)



フレンドリーサークル
(アクア)



スポ金ナイト7

開催中!

スポーツを毎週 金曜日(ナイト) 7時~



『～楽しいスポーツ塾～集まれ!バンビィキッズ』を合言葉に走ったり、跳んだり、投げたり、とにかく身体全体を使ってスポーツを楽しむための教室です。

スポーツが苦手な子供、種目初心者の子供大歓迎! ゆかいな仲間たちとスポーツをしよう!

ONE POINT

(財)福島県体育協会スポーツ医・科学委員会委員長
(社)日本医師会(財)日本体育協会公認スポーツドクター

本宿 尚 先生



「スポーツと健康」ワンポイント講座

～スポーツとストレス～

私たちが日常的に使っている言葉は、本来生体におこる変化をいうわけですが、日本ではそれを引き起こす“刺激”もストレスと呼ばれています。

スポーツとの関係で言えば、温度・湿度・ケガ・過労・睡眠不足・栄養不足・勝敗を意識した時、強い相手と試合をする時、観衆が多い時、人々の期待が多い時等、無数のストレスがあると思います。生きている限りストレスはあって当然ですが、限度を超えると心や体に異常がおきてきます。疲れた時、体調が何となく悪い時、ミスが増える時、食欲が落ちた時にストレスが原因になっていることがあります。

ストレスは心身に悪影響を及ぼす悪者と思っているかもしれませんが、良い点もあります。疲労を感じなかったら限界が来るまで身体を使ってしまう。つまり、ストレスは私たちの生存に欠くことのできないものなのです。

スポーツで試合をするというのは、ある意味でストレスになります。でも試合という目標があることで練習を続け競技力も高まります。つまり、ストレスはより強い、より良いスポーツマンになるための刺激と考えることも必要です。オーバーワークを避ける事、過度の期待感を自分に持たない事も大事でしょう。ストレスがなかったら自分は進歩しないと思う向き直りもスポーツマンには必要と思います。

INFORMATION

HOTNETは、福島県のスポーツを応援するホームページです!

HOTNET

<http://www.sports-fukushima.or.jp>

E-mail: info@sports-fukushima.or.jp

スポーツに関する情報を提供します。

"スポーツなんでも相談"

本協会では、スポーツ医事・トレーニング相談事業の一つとして、スポーツ愛好者や選手のけが、病気、栄養について、また体力や種目の特性に応じたトレーニング方法についてなど、スポーツに関することの無料相談を受け付けています。

下記の方法でお問い合わせください。

1 電話によるご相談 TEL 024-521-7896

2 FAXによるご相談 FAX 024-521-7971

3 メールによるご相談 E-mail info@sports-fukushima.or.jp

公認スポーツ指導者制度の改定について

平成17年度より、財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者制度が変わります。内容は以下の通りです。

スポーツリーダー(新資格) 指導員(旧C級スポーツ指導員)
上級指導員(旧B・A級スポーツ指導員) コーチ(旧C級コーチ)
上級コーチ(旧B・A級コーチ) 教師(旧C級教師)
上級教師(旧B・A教師)
ジュニアスポーツ指導員(旧少年スポーツ指導員・少年スポーツ上級指導員)

アシスタントマネジャー(旧少年スポーツ上級指導員)
スポーツプログラマー(旧スポーツプログラマー)
フィットネストレーナー(旧フィットネストレーナー)
スポーツドクター(旧スポーツドクター)
アスレティックトレーナー(旧アスレティックトレーナー)

このように新資格や名称変更等のほか、各資格カリキュラムの統合性が図られました。詳しくは県体育協会生涯スポーツ係へお問い合わせください。

スポーツ安全保険

スポーツ・文化・ボランティア活動に最適な保険です。5名以上でご加入下さい。

お問い合わせ (財)スポーツ安全協会福島県支部

☎024-526-4600

平成16年度福島県県民スポーツ振興協力会員名簿

～私たちは福島県のスポーツ振興を支援します～

■法人・団体の部(加入順)

(株)東邦銀行	福島県商工会連合会	(株)クラロンスポーツ	福島県信用組合協会
福島県信用金庫協会	福島県信用保証協会	(有)ホンダ印刷	(有)吾妻印刷
(株)ホシ製作所	福島県旅館ホテル環境衛生同業組合	キング印刷(株)	東亜道路工業(株)福島営業所
福島県議会スポーツ振興議員連盟	磐城通運(株)	合資会社「東館」	福島テレビ(株)
東信建設(株)	佐藤工業(株)	福島交通(株)	橋本フォーミング工業(株)福島工場
(株)東北装美	(株)環境分析研究所	(株)古瀧	(株)モリヨシ技研
花春酒造(株)	福島県ゴルフ連盟	(株)ウェディングエルティ	呉羽環境(株)
関場建設(株)	新田産業(株)	東北建設(株)	(株)ひらい
東開クレテック(株)	庄司建設工業(株)	富岡町体育協会	福島県中央商工振興協同組合
大和自動車交通(株)	原町港湾運送(株)	福島県建設業協会双葉支部	福島トヨタ自動車(株)
タニコー(株)	(株)福島中央テレビ	福島ネオ工業(株)	榎葉町体育協会
クリナップ(株)いわき事業所	東京電力(株)福島事務所	(株)アクト	東北電力(株)福島支店
山木工業(株)	(株)山川印刷所	(株)民報印刷	小名浜製錬(株)小名浜製錬所
呉羽化学工業(株)錦工場	福浜工業(株)	(株)加地和組	クレハ建設(株)
福島運送(株)	錦興業(株)	(株)福島テレビエンタープライズ	(株)渡辺組
(株)日進堂印刷所	堀江工業(株)	東急観光(株)福島支店	大塚製菓(株)郡山出張所
陽光社印刷(株)	名木製帽店	(株)松崎	(株)サンテックス
(株)海老名建設	(株)高橋建設	江花建設(株)	アサヒ通信(株)
福島ガス(株)	(株)ダイユーエイト	(株)ヤクルト本社福島工場	寿建設(株)
福島ヤクルト販売(株)	六陽印刷(株)	タカラ印刷(株)	(株)タナカ情報ビジネス福島営業所
平和印刷所(株)	(有)エンドースクリーン	(株)NIPPO コーポレーション福島支店	
ふくしまスポーツネットワーク	北斗印刷(株)		

■個人の部(加入順)

片平 俊夫	下山田好宏	下山田恵一	北村 孝男	本宿 尚	結城 勝夫
佐藤 十次	富田 孝志	内藤 繁	斎藤 久男	吉田 政勝	林 幸夫
岩本 忠夫	青木 稔	佐藤 昌志	前田 長	五十嵐源一郎	矢内 哲郎
本田 俊教	橘 和彦	花井 宣明	星 光一	内川 耕司	服部 啓吉
佐藤 真一	吉田 伸一	梶本 哲哉	穴戸 正幸	佐藤 讓敬	遠藤 均
上竹 毅	荒川 信郎	伊藤 隆司	西郷 徹夫	七宮 成夫	福本 隆
長岐 博	鈴木 義祐	神野美智男	柴山 進		
福島県教育庁スポーツグループ職員一同	(財)福島県体育協会職員一同				

加入のお願い

「福島県県民スポーツ振興協力会」は、「ふくしま国体」の成功を契機に設立され、9年目を迎えました。この協力金は、生涯スポーツを推進し、県民の「だけれども、いつでも、どこでも」気軽にスポーツに親しむことができるようにするために、また、県の競技力の維持・向上を支援するために活用されています。本協力会の趣旨を御理解いただき、会員は年々増加しておりますが、より多くの方にご加入いただき本県のスポーツ振興を支えていただきますようお願いいたします。

- 加入期間……入会后5年間
- 協力金額……毎年度あたり1口1万円。1口以上何口でも可。
- 加入窓口……財団法人福島県体育協会事務局 総務係 TEL024-521-1291

広域スポーツセンター

「総合型地域スポーツクラブ」の創設、育成、定着を支援します。お気軽にご連絡ください。

うつくしま広域スポーツセンター (県体育協会事務局内)

福島市杉妻町5番75号福島県庁東分庁舎3号館
http://www.u-kouiki.jp/USC/uSCtop.html
E-mail utsukushima@u-kouiki.jp

TEL 024-526-4680
FAX 024-526-4681

浜通り広域スポーツセンター (Jヴィレッジ内)

双葉郡榎葉町大字山田岡字美シ森8番地
http://www.u-kouiki.jp/HDSC/hamaSC.html
E-mail hama@u-kouiki.jp

TEL 0240-26-0555
FAX 0240-26-0556

中通り広域スポーツセンター (たまかわ文化体育館内)

石川郡玉川村小高字大谷地71
http://www.u-kouiki.jp/NDSC/nakaSC.html
E-mail naka@u-kouiki.jp

TEL・FAX
0247-57-2585

会津広域スポーツセンター (会津若松市民ふれあいスポーツ広場 ふれあい体育館内)

会津若松市一箕町大字八幡字八幡2の1
http://www.u-kouiki.jp/ASC/ASC.html
E-mail aizu@u-kouiki.jp

TEL 0242-37-0588
FAX 0242-37-0933

編集後記

平成7年のふくしま国体から10年が経過し、第60回の国民体育大会が冬季大会をかわりにスタートしました。本県のスポーツも新たな局面を迎え、キッズ、ジュニアからの一貫指導による選手の育成を積極的に進めています。本県選手の活躍は県民の皆様にも夢と感動を与えてくれます。また、スポーツに親しむ生活は活力と健康を生み出します。今後も、「スポーツに強いふくしま」の確立と、生涯スポーツの振興に一層努力してまいります。

※本誌は、財団法人福島県スポーツ振興基金助成事業(情報提供事業)により作成したものです。